

地域における活力ある経済社会の構築に関する特別調査 報告書

概要

令和7年9月
内閣府政策統括官（経済社会システム担当）

「地域における活力ある経済社会の構築に関する特別調査」について

- 骨太方針2025に掲げられた「Well-being（幸福度）の高い、豊かさ、安心・安全、自由、自分らしさを
実感できる活力ある経済社会」の構築や、そのための地方創生2.0の下での「若者や女性にも選ばれる地方」
を実現する取組を後押しするため、毎年の満足度調査に加え、地域に関する下記の特別調査を実施。

【調査対象】

- ① 全国約20,000人に、アンケート調査を実施（調査時期：令和7年3月、Webモニター調査）
※性別、年齢別、地域別のほか、出身地を離れた方か否か、今後の定住意向の有無等でも比較できるよう設計
- ② うち約10,000人は、人口20万人未満で次の特徴を持つ自治体を重点的に調査

若者や女性にも選ばれる自治体

→ 140自治体

- ① 転入超過であり、かつ、
- ② 平均年齢が低下若しくは全国平均より上昇が緩やか、
又は、
15-64歳人口の女性比率が上昇した自治体

対照的な状況の自治体（対照群）

→ 140自治体

- ① 転出超過であり、かつ、
- ② 平均年齢が全国平均より上昇率が高い、
又は、
15-64歳人口の女性比率が低下した自治体

【調査項目】

- 生活満足度、生活の楽しさ・面白さ、生きがい・自己実現、人と人とのつながり・自由さ、
仕事のやりがい、働きやすさなどの項目について、居住地域の環境や自らの現状、意識を調査

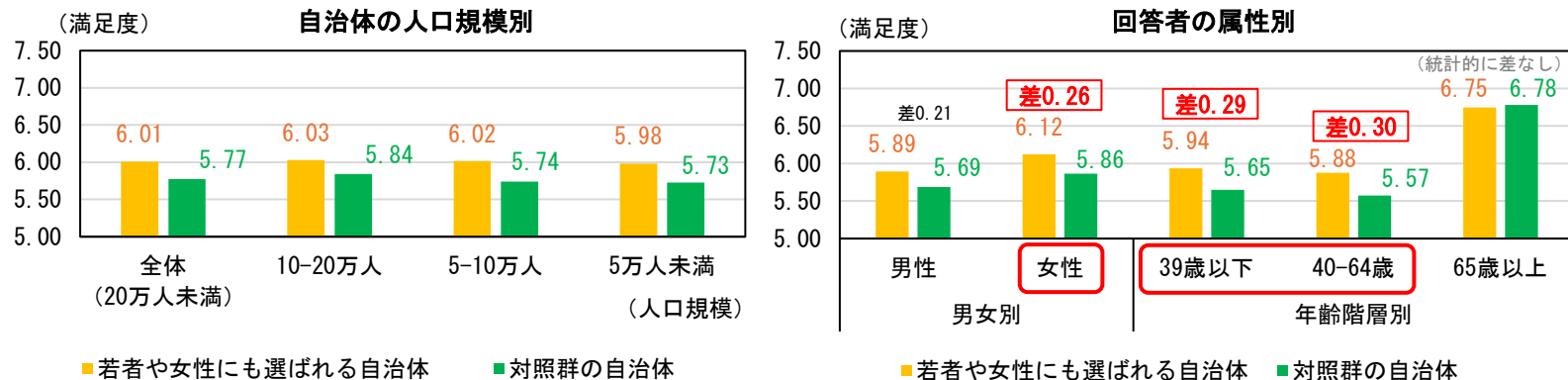
質問例）・「楽しさ、面白さ」に関する満足度を判断する際に重視する事項は何ですか。

- ・あなたの周りやお住まいの地域には、若者／女性が活躍しやすい環境が整っていますか。
- ・自分の成長に対して積極的に取り組んでいる・取り組んでいると感じますか。
- ・お住まいの地域への愛着はどのくらいありますか。
- ・お住まいの地域に住み続けたい理由は何ですか。

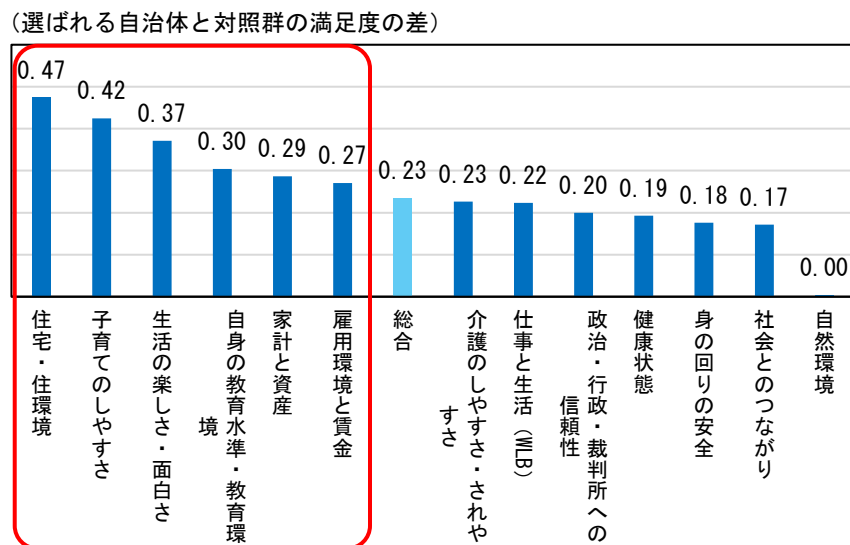
1. 若者や女性にも選ばれる自治体における生活の満足度、楽しさ・面白さ

- 選ばれる自治体では、女性や現役世代を中心に、生活全般についてより高い満足を感じている。
- ・ 分野別の満足度は、選ばれる自治体と対照群の差をみると、住宅・住環境や、子育て環境、生活の楽しさ・面白さの満足がより高く、次いで、自身の教育水準・教育環境、家計と資産、雇用環境と賃金が続く。
- ・ うち、生活の楽しさ・面白さのために重視されているのは、友人等とのつながりや、趣味・生きがい、家庭生活の安定・充実など。

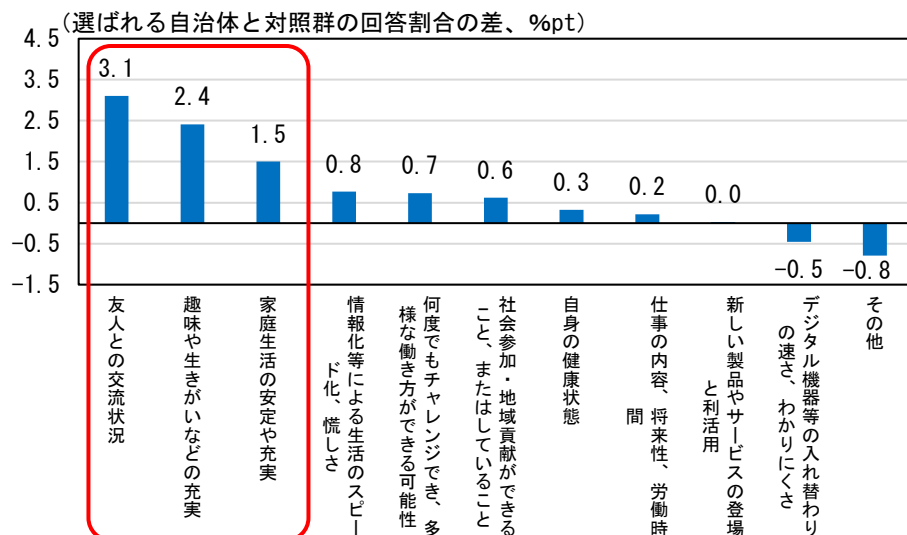
図表1 生活満足度（選ばれる自治体と対照群）



図表2 分野別の満足度



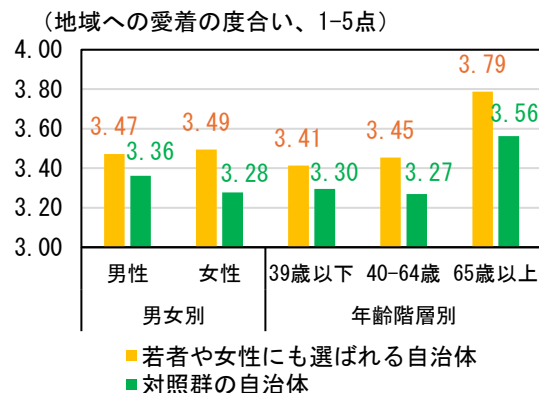
図表3 「生活の楽しさ・面白さ」に大きく影響している要因



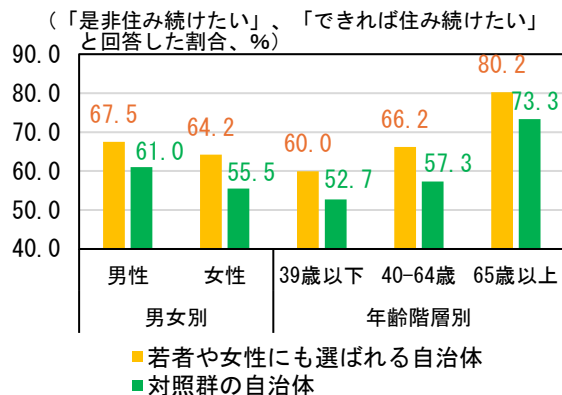
2. 地域への愛着、住み続けたいと感じられる要因

- 選ばれる自治体では、老若男女を問わず、**より地域に強い愛着**を持ち、**住み続けたいと考えている**傾向。
- 地域に**住み続けたいと思う理由**をみると、選ばれる自治体では、
 - ・ 「**買い物、通院など、日常生活が便利**」が非常に高い。加えて、「**子育て環境**」や「**治安**」など、**安全・安心に暮らす基盤となる生活環境**に関する項目で差が大きい。個人の属性によって更に差は拡大。
 - ・ 「**価値観や慣習に窮屈さを感じない**」も差が大きく、地域に残る**アンコンシャス・バイアス解消が重要**。

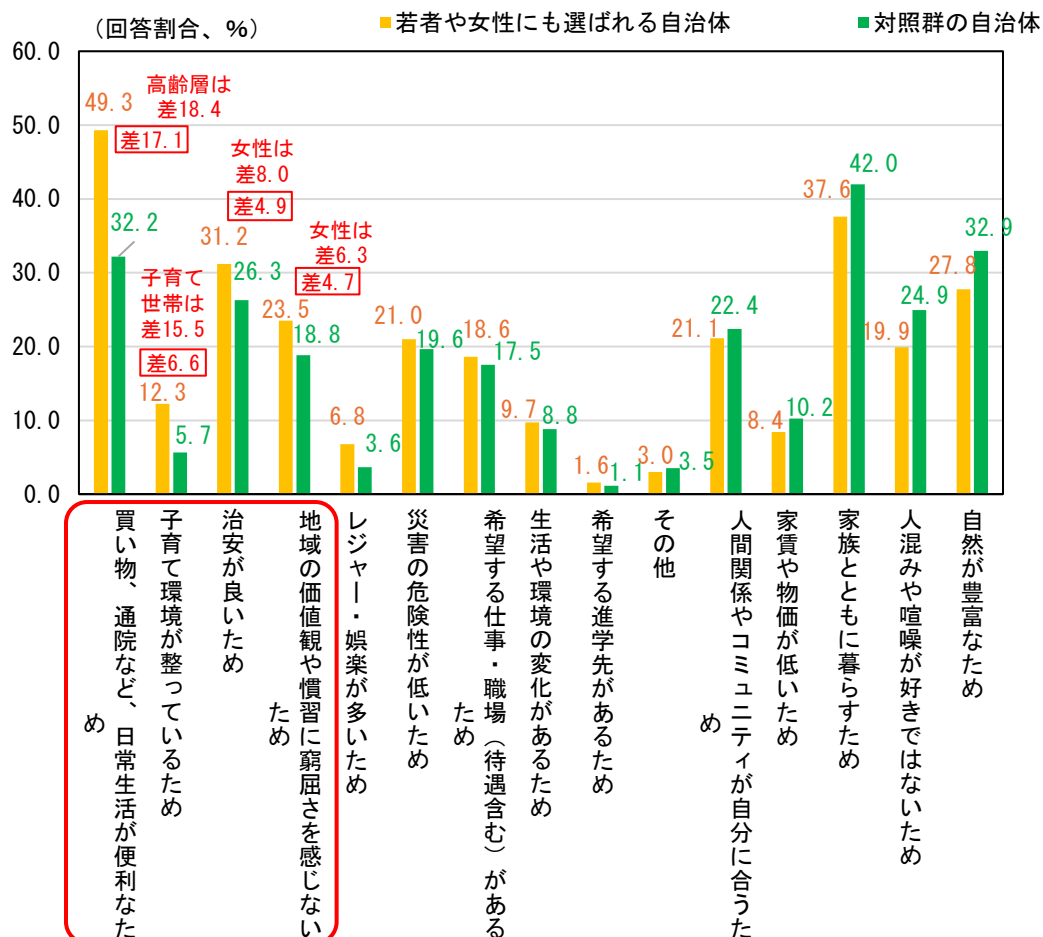
図表1 現在住んでいる地域への愛着



図表2 現在住んでいる地域への定住の意向



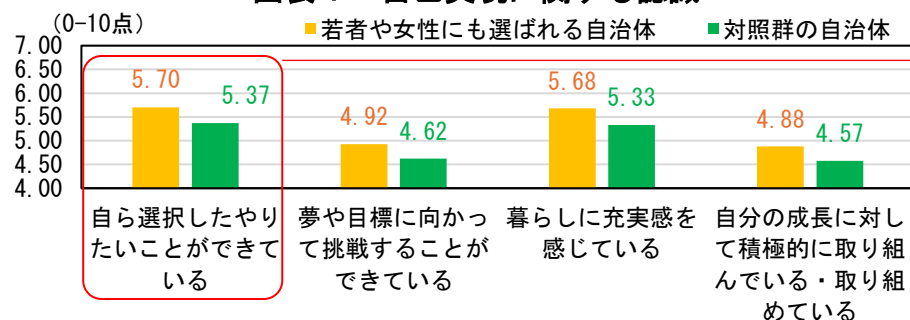
図表3 現在住んでいる地域に住み続けたいと思う理由



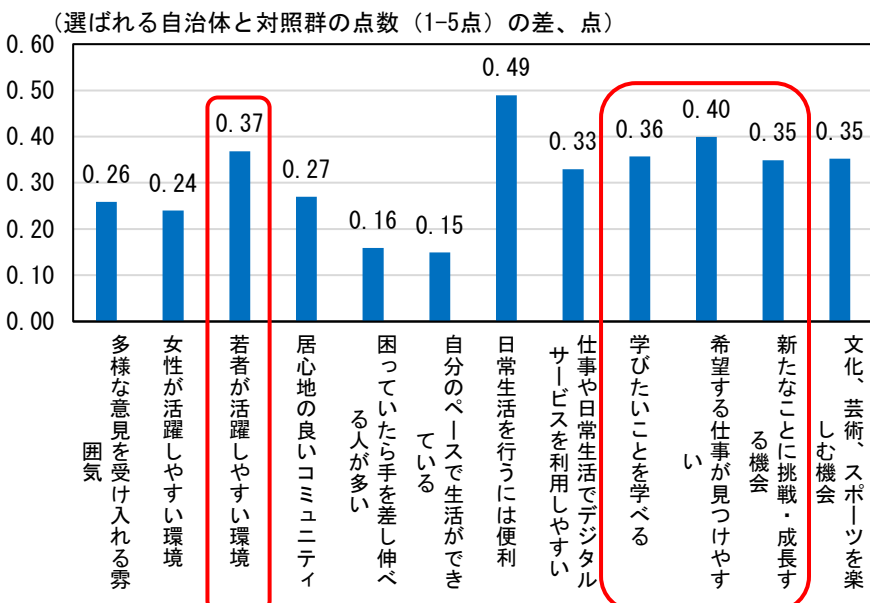
3. 多様な一人一人が自己実現できる環境

- 選ばれる自治体は、自己選択、夢への挑戦など自己実現できている認識が強い。この背景を探ると、選ばれる自治体と対照群の差でみて、「希望する仕事が見つけやすい」、「学びたいことが学べる」、「挑戦する機会」、「若者が活躍しやすい」などの項目で、より自己実現の機会や環境があると実感されている。
- 自己選択の実感は、選ばれる自治体においては非正規雇用より正規雇用の方が高いが、対照群においては正規雇用であっても非正規に比べ高まっていない。
- また、働きやすさや働きがいを感じている人は、小規模自治体でも定住の意向が顕著に増加。

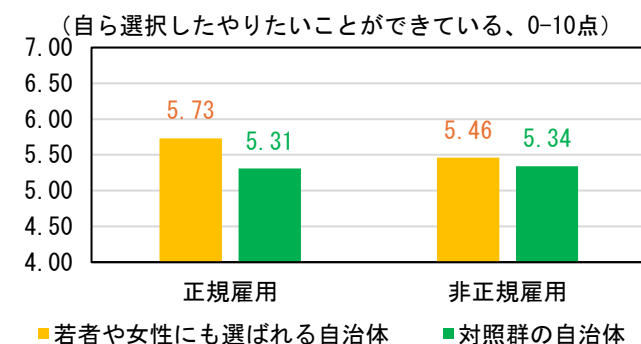
図表1 自己実現に関する認識



図表2 地域社会の状況に対する認識

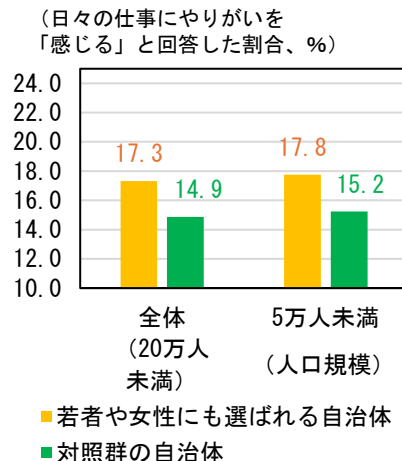


図表3 就業形態別にみた自己選択の認識



図表4

働きがいを感じているか



図表5

働きやすさ・働きがいと定住の意向

